



おおたかの森中だより

流山市おおたかの森西2-13-1 ☎04(7159)7002 生徒数644名



今年の漢字は

校長 大島 小百合

いよいよ師走。木々の紅葉がすすみ、イチョウの葉が落ちて黄色一色に染まっている道がありました。気温もだいぶ低くなってきた中、新型コロナウイルスの感染者が増えています。学校では、今まで行ってきた感染対策を油断することなく継続していきます。

○毎朝の検温チェック ○マスク着用 ○手洗い ○手指消毒 ○換気 ○加湿

また、授業参観の実施は、もう暫く見合わせます。3学期の状況で検討していきますので、実施する場合は早めにお知らせいたします。保護者の皆様には、感染予防のために授業や行事の参観を控えていただいておりますが、現在おおたかの森中 HP では、学校生活の様子を毎日紹介しています。合わせて、動画も期間限定で公開していく予定です。ぜひご覧ください。

ところで12月になると、1年間を振り返る行事ですっかりお馴染みになった「今年の漢字」というものがあります。今年を表す漢字1字を募集し、応募が1番多かった漢字が「今年の漢字」として、清水寺の貫主が揮毫(きごう)します。

(☆揮→ふるう 毫→筆 から、ふでをふるう、毛筆で言葉や文章を書くこと)

墨を滴らせながら、力強く大筆を揮っている様子は、必ずニュースで目にするようになりました。過去5年間の「今年の漢字」は、以下の結果でした。

2019年：令 2018年：災 2017年：北 2016年：金 2015年：安

この、普段使っている漢字は、表意文字といって、日常の風景・時間の経過・様々な意味を表しています。3000年以上の歴史があり、時代とともに漢字の形を少しずつ変えながら、現在に至っています。例えば、「集」は 隹→これが3つ集まった文字で鳥を表します。木の上に3羽の鳥が止まっている様子から集まるという意味を表しているそうです。(諸説あります) 漢字の成り立ちには、先人達の豊かな感性や知恵が詰まっているのだなと思います。「今年の漢字」を考えながら、ちょっと漢字の成り立ちも調べてみるとおもしろい発見があるかもしれません。

それでは今年の漢字は何が選ばれるでしょう。現在募集中で、12月14日に発表されます。「コロナ禍で自粛生活をし、飛沫を防ぎ、感染予防に努めた1年。」という年でしたが、こんな時だからこそ、明るさのある漢字が選ばれるとよいなと期待しています。

そして、おおたかの森中学校を表す漢字1文字は何でしょう。生徒の皆さんの知恵で乗り切ってきた学校生活を表す漢字を、皆さんの感性でぜひ考えてみてください。

おおたかの森中生の活躍

- ・聖徳大学附属女子高等学校 中学生英語コンテスト 3年生 reading の部 銀賞
- ・令和2年度流山市民陸上競技大会 男子共通砲丸投げ 第1位、女子2年100m 第1位
女子共通100mH 第1位、女子共通走高跳 第2位 第3位
男子共通走幅跳 第3位
- ・第18回流山市少年少女俳句大会 市議会議長賞(1名)、奨励賞(1名)、秀逸(4名)、佳作(7名)
- ・第62回千葉県俳句大会 千葉県俳句作家協会会長賞(1名)、千葉県俳句委員長賞(1名)
優秀賞(1名)
- ・令和2年度千葉県競技力向上推進本部ちばジュニア強化事業 ちばジュニア強化指定選手(1名)
- ・千葉県学校歯科保健優良校表彰 優良賞
- ・令和2年度児童虐待防止標語 佳作(1名)
- ・第11回一茶双樹俳句交流大会 最優良賞(1名)、入選(5名)
- ・第46回千葉県アンサンブルコンテスト東葛飾地区予選 木管八重奏 金賞、木管・弦八重奏 銀賞
金管八重奏 銀賞、打楽器七重奏 銀賞
- ・流山市歯・口の健康に関する図画ポスターコンクール 佳作(3名)
- ・第72回千葉県小・中・高校書き初め展覧会 市長賞(1名)
- ・第69回千葉県小・中・高校席書大会 特選(1名)、金賞(1名)
- ・千葉県青少年コンクール読書感想文コンクール市内審査 優秀賞(2名)
- ・令和2年度青少年を健全に育てる運動啓発ポスター 入選(1名)

いじめに関する授業を実施しました

11月12日(木)には1年生を対象に「脱いじめ傍観者授業」を、11月26日(木)には1・2年生を対象に「いじめ防止教室」を実施しました。

「脱いじめ傍観者授業」では、いじめには加害者、被害者以外に傍観者(観衆)という立場が存在し、傍観者(観衆)がどのような行動をとれるかが、いじめの解消や解決に大きく影響するというものでした。

「いじめ防止教室」は、市教委の先生を講師として招き、いじめが「いじめ防止対策推進法」と法律によって禁止されていることやいじめの定義、どのようなことがいじめに当たるのか等を学びました。

どちらの授業においても、生徒は熱心に聞き入っていました。「いじめが法律によって禁止されているとは知らなかった。」「自分がいじりだと思ってしていたこともいじめになってしまうことが分かった。」「いじめだと思ふことを目にしたら、すぐに相談しなければならなかった。」等の感想がたくさん書かれていました。今後も「いじめは絶対に許されないもの」という意識を全生徒に持たせることができるように取り組んでいきます。

感染拡大防止に努めていきましょう

「非常事態宣言」が発令され、臨時休業というこれまで経験したことのない状況の中でスタートした今年度ですが、例年通りの、またはコロナ禍で最大限配慮した中でできることを模索する年末、年度末にしたいというのが学校の願いです。

そのような中、テレビのニュースや新聞では、毎日のように「感染拡大」や「第3波」といった報道がなされており、各ご家庭においてもどのように対応していくのがよいのか苦慮されていることと思います。

今後、学校では3年生の上級学校入試や1年間のまとめを進める時期となり、それに伴う進学や進級は生徒にとってもご家庭にとってもとても重要なことで、このような過程を経験することは生徒にとって、中学校生活における、かけがえのない時間を過ごすことにもなります。

このかけがえのない時間を過ごすためにも、再び「臨時休業」に入ることは避けたいと考えます。各ご家庭においても、国や関係機関が推奨する感染拡大防止策に最大限努めていただくとともに、不要不急の外出を避け、マスクの着用、消毒の励行をお願いいたします。

1月5日(火)の3学期スタートの日に、全生徒が笑顔で登校できることを祈っています。